

作成例

従 業 者 名 簿

〇〇店

氏 名	従業者証明 書番号	主たる職務内容	宅地建物取 引士である か否かの別	この事務所の従業者 となった年月日	この事務所の従業者で なくなった年月日
千代田 一男	96050001	代表取締役		H8.5.1	
千代田 花子	96050002	専取	○	H8.5.1	
宅建 太郎	04100005	営業		H22.10.13	
広島 一郎	96050003	営業		H8.5.1	H22.9.30
三次 桜子	10040006	事務		H22.4.1	

- 備 考
- 「従業者証明書番号」の欄には、法第 48 条第 1 項の証明書の番号を記入すること。
 - 「宅地建物取引士であるか否かの別」の欄には、宅地建物取引士である者には○印をつけること。
 - 一時的に業務に従事する者についても記載すること。
 - 記載すべき事由が発生した場合には、2 週間以内に記載すること。なお、記載事項について変更、訂正等をするときは、変更、訂正等をする前の文字等は、なお読むことができるようにしておくこと。

・余白に「原本と相違ない旨」、業者名、代表者の職・氏名を記載してください。

・名簿が複数枚にわたる場合は、ホチキス止めをし、頭のページに代表者の職・氏名を記載してください。

・社内で異動があった場合は、支店ごとの従業者名簿が必要です。（どの支店の従業者名簿か明記してください。）

・申請者が宅建業者の役員（法人）、宅建業者本人（個人）の場合でも、この原本証明は宅建業者の代表者が行って差し支えありません。（実務経験証明書は他の宅建業者が証明する必要があります。）

・期間が2年以上に渡る場合は直近2年間でわかる名簿のみの提出で構いません。（ただし、従業者名簿の実務期間と、登録申請書及び実務経験証明書の実務期間は相違がないようにしてください。）

・申請者以外の他の従業員の情報は黒塗りして提出しても構いません。

この写しは原本と相違ありません。
令和7年5月1日

千代田不動産株式会社

代表取締役 千代田 一男